

# めだかの学校だより

平成 15 年 8 月 1 日  
第 41 号

学舎：東久留女木新田観音山  
「みどりの里キャンプ場」内  
事務局：引佐郡引佐町  
東久留女木 472-111  
TEL053-545-0381

## 校長訓話

第四十一回校長 伊藤 八右

《いつまでも夢のある人生を》

めだかの学校が始めて開校されたのは、平成五年だと思っています。

今年でちょうど十年目になると思いますが、昔から十年一昔といいますが今思うと本当にあつという間の十年でした。奥山の自然休養村「つみくさ」をお借りしての開校、いろんなイベントがあり思い出がたくさんです。

私は現在「てんでんゴー渋川」の組合長さんである伊藤茂男さんの薦めで入学することができました。

平成七年に用務員をやらせていただきその後講師、給食当番などもやらせていただいております。前回佐野校長先生の給食最後に、バラさんより強制指名され

頭を抱えましたが仕方ありません。この十年間に大勢の先生方には、お心のもったご講演をいただき私なりに、勉強になってまいりました。先生方ありがとうございました。

人生にはいろんな生き方があるのだとつくづく感じます今日この頃でございませう。私もそろそろ後数年で現役を引退する年齢に接近してまいりました。

これから本当に自分のやりたいこと？私の家の周りには先祖より残された田畑原野が、僅かばかりあります、それらを生かして自分の好きな花などを沢山植え、しっかりした散歩コース（年老いても大丈夫な）を設け、好きな木彫（創作）なども所々に展示して、勿論皆様方にも自由に散策していただき心が休まれる【ミニ公園】とでも言いましょうか、そんなこと、少しずつ考えております。

近年は、私の住んでいる渋川寺野地域、私の住宅の目の前に三遠南信道路が通過予定で出入り口も要望事項第一条件になっており、引佐町北の玄関になるのではと、期待を大きくしている次第です。

\*現在隣家の休耕田をお借りして、花菖蒲、紫陽花などを少しずつ増やしております。三遠南信工事で埋まる処の山百合等も集めていきたく思っています。では、皆様前回の佐野校長先生のような訳にはいきませんが、夏に向かって体調を崩さぬ様九月五日お元気で会いできますのを、楽しみにお待ちしております。



## めだかの学校伝言板

—第 41 回めだかの学校を開校するので出席しなさい。  
校長／伊藤八右  
教頭／大場敬子  
用務員／藤田吉恭  
給食係／本間稔・別所慶則・川島安一・萩田博  
村木謙弼・金原志郎・村松達雄  
鈴木真弓・牧野久子・森下幸子  
水村春江・藤野はつえ・渡辺三ツ子（チーフ）  
〈学舎〉静岡県引佐郡引佐町東久留女木観音山  
日本ボーイスカウト連盟静岡県支部  
観音山緑の里キャンプ場  
TEL なし

開校日／平成 15 年 9 月 5 日（金）6:20PM より  
受付／古田賢二郎・原田憲治・伊藤豊子・西川裕子  
齋藤昭（後見人）  
〈時間割〉～満天の星空のもと野外授業～  
—視点を変えれば新しい世界が見える—  
\*特別 55 分授業  
“あなたの中の貧乏神？！”  
『出ていけ！貧乏神。～さあいきますゾー』  
先生・田邊 哲（貧乏神社社森分社主）  
\*給食の時間—食欲の秋「マツタケたっぷり  
のマツタケごはん」と・・・。

# めだかの動き

## 泳ぎ回るめだかたち

■チエコ・ドイツ温泉保養地視察の旅  
修善寺温泉にある菊屋旅館の主の野田さん  
から「今年、全旅連でドイツに温泉視察に行  
くけど一緒にどう？」と声を掛けられた。  
「おー、じゃあヴァーデン・ヴァーデンにも  
行く？」とちやんぷり泊するよ。昭和40年代、  
湯布院のまちづくりのヒントを求め中谷健太  
郎さんが旅したところである。歓楽型の温  
泉地ではない保養型の温泉地がそこにはあっ  
た。この湯布院の原点を見つめおられようか  
職場と家族のことがよつと悩まをかすめた  
が、「行くよ」との言葉が出た後だった。  
7月16日フランクフルトに向け、全国の旅  
館オーナーらと26名で飛び立った。  
ヴァーデン・ヴァーデンにいたのは20、21、  
22日である。最高級温泉保養地として誉れ高  
く、市全体が保養地になっている。ゾーニン  
グは十分に明確で保養、スポーツ、店舗、  
住居に分かれて明確。保養ゾーンにはクア  
パーク、クアハウス、飲泉所、浴場がある。  
クアハウスには音楽ホール、レストラン、  
カジノがあり社交の場となっている。そう  
アハウスというのは浴場ではないのである。  
浴場はテルメと言う。ここにはフリードリッ  
ヒテルメとカラカラルテルメがある。フリード  
リッヒテルメは20世紀初めに造られ、アール  
ヌーボの流れを汲むユートゲント・シュタイ  
ル様式で、花鳥風月の図柄のタイルが美しい。  
ドーム天井には浴槽を覗き込むように白い天  
子の像が十数体あった。よく見るとスポーツ  
飲料のCMに出てくる例のシヨン便小僧と同  
じである。これを真似たのか。サウナ・浴  
槽が15種類ほどあり、決められた時間を決め  
られた順に入っていく。ほぼ一時間かかる。  
これだけの種類が男女別々にあるわけはな  
く、期待通りの混浴になっている。ドイツ女性  
人と幸いにも同じ湯に浸かることになった。  
ひと通り終えた後には睡眠の部屋も用意され  
ベッドに横になると大きなタオルでくるみ毛  
布を掛けてくれる。これで12ユーロ(160  
0円ほど)、如何かな？カラオケも舞台もお酒  
も飲めないけど。  
街は極めて美しく、全体が公園のようだ。  
菩提樹をはじめ高木が緑深いものになっている。  
朝からいたるところで散水され、清掃作業が  
見られる。散策路は川沿い、並木浴い、丘の  
際にと3本の散歩道が延々と続く。地下に駐

車場を配置し、店舗ゾーンへの不用な車の進  
入を無くして歩車がうまい具合に共存してい  
る。テーマパークではないのになぜここまで  
整備できるのだろうか？豊かな公共空間を作  
り出す信念とエネルギーそしてデザインセン  
スは相當なものである。  
緑陰散歩にテルメに飲泉、ピルスナーにバ  
イツェンビアをたらふく飲みヴァーデン・  
ヴァーデンのクアに身も心も癒されてい  
くのであった。ただ最後のカジノは余分だ  
った。あああ。話は尽きないけどこの辺で、  
後はメダカ力の学校で。(溝口久メダカ)

■遠州そば食文化研究所の発足  
そば食文化研究所「発足祈念蕎麦会」と称  
して、蕎麦会を開いたところ、メダカ力の生徒  
をはじめ約四十人ほどの方々に御参加を頂き  
ました。当日、御参加を頂いた方々には、改  
めてお礼申し上げます。  
昨年3月末にエイプリルフルの小話とし  
て、「袋井そば食文化研究所」なるバーチャル  
研究所の設立を宣言しました。以来、この名  
称で各地のイベントに参加したり、蕎麦会を  
開いたりして、多くの方々から反響や御賛同  
を頂きました。私の住んでいる袋井市は、地  
域づくりに関する情報発信が少ないことから  
かなりのこだわりを持って「袋井」としてき  
ました。

しかし、応援を頂いている方々は、三遠南  
信地域を中心に伊豆や遠くは大分県まで広が  
りました。いろいろな都合が生じるようになって  
きました。このため、蕎麦会を打つメンバーの  
多くが遠州地域の方です。遠州そば食文化  
研究所に改称することにしました。発足  
祈念蕎麦会に合せて、御指導を頂いた方々、  
蕎麦を打つ仲間、打たないが茹などを支援し  
てくれる方、味見専門ではあるが応援してく  
れる方々などをリストアップして名簿を作成  
したところ、蕎麦打ちの先生と生徒が約四十  
人、全体で八十人余がリストアップされまし  
た。今後、同好の士の技術の向上や情報交  
換、多くの方々との親睦を図るためにさまざ  
まな活動をしたいと考えています。メダカ力  
皆さんのリクエストがあれば、蕎麦打ち体験  
会や蕎麦パーティーなどのお手伝いもします。  
暑い夏が過ぎて秋を感じはじめると、新蕎  
麦の季節になります。蕎麦はとにかく蕎  
麦がっついてはなりません。当研究所は蕎  
麦をつなぎに、人と人のネットワークを広げ  
たいと思います。御賛同の方は、是非、「遠州  
そば食文化研究所」に入所して下さい。会費  
なし規約なし、出入り自由。肩書きも自分で  
適当に考えて下さい。

(お礼)  
六月一日に、大須賀町「なんでもあり農園」  
の温室の紐立て作業にボランティアをお願い  
したところ、天候不順にもかかわらず、大勢  
の方に来て頂き誠にありがとうございました。  
お陰をもちまして、約五〇平方メートルの  
温室の骨組みが完成しました。これからシ  
ートなどが掛けられるように仕上げ作業を進め  
ていきます。完成すれば、日よけや雨よけの  
場所としてパーベキューなどのアウトドア活  
動にも活用できます。九月から十月には、サ  
ツマイモがあります。十一月末からは、サト  
ウキビが収穫されます。今年も、日取りは未  
定ですが、収穫祭としてサトウキビ刈り体験を  
行う予定です。是非、当農園に遊びに来て下  
さい。お待ちしております。  
(なんでもあり農園小作人一同)

■レッツ・ダンス  
46年ぶりに静岡県で国体が開かれる。どう  
せ22世紀まで生きられる訳で無し、半世紀に  
一度の国体を何とかが加えていかないだろうか  
そんなことを漠然と考えてきた。国体の事務  
局に問い合わせると、デモンストレーション  
行事には誰でも参加できるという。それでは  
という事で、仲間と共にトライアスロンに  
ようという事になった。トライアスロンは  
物だが、問題は水泳と自転車である。早速、  
泳ぎを習うために、水泳入門書を買ってプ  
ールに通い始めた。同時に中古のロードレ  
サーを手に入れて、ベタルこぎの訓練も始め  
たのである。

それから約2年が経過した。泳ぎも見事？に  
なった。自転車も落車で怪我をしたけれど何  
とかなった。さてという段になって、トライ  
アスロンの募集要項を取り寄せると、何と「応  
募資格は中学生以下。ミニプログラムで開  
催。」と書いてあるではないか。エーッ、開  
いた口がふさがらないとはこのことである。  
そんな折、県民ダンスを募集していると  
いう。「ダンス？」仲間も半信半疑であつた  
が、ともかく19歳から62才までの13人のメ  
ンバーがそろった。

5月のある日、練習会が招集された。そこ  
で私たちがグループが目にしたのは、スラリと  
小股の切れ上がった八頭身の、佐野前校長の  
ような目麗しい女性ばかりであった。それ  
を目の当たりにした私は、さながらアイフル  
のパパ状態になってしまった。追い討ちをか

けるように「お尻を締めて、背筋をピンツと  
伸ばして！。県民の代表として自ら手を上げ  
たのでしょ。盆踊りじやないんですからね。  
遠慮なくピンピンとやりますから。」指導者の  
やさしい声である。  
実は私達のグループは、ダンスどころか、  
ダンスを開けたことも無い。それに胴長短足  
ぞろいである。十二万個の観客の目を誤魔化  
すのはムリだ。かといって、もう引つ込みは  
つかない。練習をするしかない。「下手でも私  
達こそ、県民の代表だ。」と思うことにした。  
(川島 安一メダカ)

■道にはドラマがあった。そして……。道へ  
の想い、あなたのドラマは？  
「全国街道文化交流会」旅の原点伊勢時の集  
い」が「交流と文化」をテーマに8月23日  
(土)、24日(日)の2日間、松阪市産業振  
興センターで開かれる。23日は12時30分受  
付、13時30分「御師：旅の仕掛人」の基調  
講演。14時30分からは「交流と商人文化」信  
仰とビジネス「交流と学問研究」旅と情報「信  
仰と別ミニセミナー」がある。24日は松阪の参  
宮街道今昔見て歩き。松阪の街並みを歩く  
ことで新たなドラマが始まるかもしれない。  
松阪市には、松阪もめんセンター主任指導員  
の坂梨律子メダカがいます。今回の集いは松  
阪もめんの伝統を大切に、あいの会「松  
坂」が20余年の活動の集大成として企画した  
ものです。詳細は55150082松阪市魚  
町16583松阪もめん手織りセンター内、  
あいの会「松坂」事務局TEL: FAX0568・  
26・6255まで。

■満天の星のもと、たそがれる湖西を背景に  
サックスソロコンサート  
引佐町の「あいらびいなさ湖の会」では8  
月23日(土)夕方6時から、引佐町川名の都  
田川ダム湖にある「いなさ湖畔野外ステージ」  
で『岸義敏サックスフロンソロコンサート』  
を開く。曲目は三種類のサックスによる「ダ  
ニール・ポリー」「アメイジング・グレイス」「闘  
牛士のマンボ」「G線上のアリア」や「川の  
流れのように」など、じっくり聞かせてくれ  
る。昨年は感動して涙ぐむ人も、こちらは感  
激のあまりギヤラをはずさずで赤字になっ  
てしまった。「あいらびいなさ湖の会」は石野省三  
メダカ、牧野久子メダカ、榎原幸雄メダカ、  
賛助渡辺三ツ子メダカらが、いなさ湖を拠点  
に「のんびり、ゆつと環境と文化と人づく  
り」をキーワードに3年前から始めたもの。  
名簿もない、規約もない、会費もない、「よし、

(お礼)  
六月一日に、大須賀町「なんでもあり農園」  
の温室の紐立て作業にボランティアをお願い  
したところ、天候不順にもかかわらず、大勢  
の方に来て頂き誠にありがとうございました。  
お陰をもちまして、約五〇平方メートルの  
温室の骨組みが完成しました。これからシ  
ートなどが掛けられるように仕上げ作業を進め  
ていきます。完成すれば、日よけや雨よけの  
場所としてパーベキューなどのアウトドア活  
動にも活用できます。九月から十月には、サ  
ツマイモがあります。十一月末からは、サト  
ウキビが収穫されます。今年も、日取りは未  
定ですが、収穫祭としてサトウキビ刈り体験を  
行う予定です。是非、当農園に遊びに来て下  
さい。お待ちしております。  
(なんでもあり農園小作人一同)

■レッツ・ダンス  
46年ぶりに静岡県で国体が開かれる。どう  
せ22世紀まで生きられる訳で無し、半世紀に  
一度の国体を何とかが加えていかないだろうか  
そんなことを漠然と考えてきた。国体の事務  
局に問い合わせると、デモンストレーション  
行事には誰でも参加できるという。それでは  
という事で、仲間と共にトライアスロンに  
ようという事になった。トライアスロンは  
物だが、問題は水泳と自転車である。早速、  
泳ぎを習うために、水泳入門書を買ってプ  
ールに通い始めた。同時に中古のロードレ  
サーを手に入れて、ベタルこぎの訓練も始め  
たのである。

それから約2年が経過した。泳ぎも見事？に  
なった。自転車も落車で怪我をしたけれど何  
とかなった。さてという段になって、トライ  
アスロンの募集要項を取り寄せると、何と「応  
募資格は中学生以下。ミニプログラムで開  
催。」と書いてあるではないか。エーッ、開  
いた口がふさがらないとはこのことである。  
そんな折、県民ダンスを募集していると  
いう。「ダンス？」仲間も半信半疑であつた  
が、ともかく19歳から62才までの13人のメ  
ンバーがそろった。

5月のある日、練習会が招集された。そこ  
で私たちがグループが目にしたのは、スラリと  
小股の切れ上がった八頭身の、佐野前校長の  
ような目麗しい女性ばかりであった。それ  
を目の当たりにした私は、さながらアイフル  
のパパ状態になってしまった。追い討ちをか

けるように「お尻を締めて、背筋をピンツと  
伸ばして！。県民の代表として自ら手を上げ  
たのでしょ。盆踊りじやないんですからね。  
遠慮なくピンピンとやりますから。」指導者の  
やさしい声である。  
実は私達のグループは、ダンスどころか、  
ダンスを開けたことも無い。それに胴長短足  
ぞろいである。十二万個の観客の目を誤魔化  
すのはムリだ。かといって、もう引つ込みは  
つかない。練習をするしかない。「下手でも私  
達こそ、県民の代表だ。」と思うことにした。  
(川島 安一メダカ)

けるように「お尻を締めて、背筋をピンツと  
伸ばして！。県民の代表として自ら手を上げ  
たのでしょ。盆踊りじやないんですからね。  
遠慮なくピンピンとやりますから。」指導者の  
やさしい声である。  
実は私達のグループは、ダンスどころか、  
ダンスを開けたことも無い。それに胴長短足  
ぞろいである。十二万個の観客の目を誤魔化  
すのはムリだ。かといって、もう引つ込みは  
つかない。練習をするしかない。「下手でも私  
達こそ、県民の代表だ。」と思うことにした。  
(川島 安一メダカ)

■道にはドラマがあった。そして……。道へ  
の想い、あなたのドラマは？  
「全国街道文化交流会」旅の原点伊勢時の集  
い」が「交流と文化」をテーマに8月23日  
(土)、24日(日)の2日間、松阪市産業振  
興センターで開かれる。23日は12時30分受  
付、13時30分「御師：旅の仕掛人」の基調  
講演。14時30分からは「交流と商人文化」信  
仰とビジネス「交流と学問研究」旅と情報「信  
仰と別ミニセミナー」がある。24日は松阪の参  
宮街道今昔見て歩き。松阪の街並みを歩く  
ことで新たなドラマが始まるかもしれない。  
松阪市には、松阪もめんセンター主任指導員  
の坂梨律子メダカがいます。今回の集いは松  
阪もめんの伝統を大切に、あいの会「松  
坂」が20余年の活動の集大成として企画した  
ものです。詳細は55150082松阪市魚  
町16583松阪もめん手織りセンター内、  
あいの会「松坂」事務局TEL: FAX0568・  
26・6255まで。

■満天の星のもと、たそがれる湖西を背景に  
サックスソロコンサート  
引佐町の「あいらびいなさ湖の会」では8  
月23日(土)夕方6時から、引佐町川名の都  
田川ダム湖にある「いなさ湖畔野外ステージ」  
で『岸義敏サックスフロンソロコンサート』  
を開く。曲目は三種類のサックスによる「ダ  
ニール・ポリー」「アメイジング・グレイス」「闘  
牛士のマンボ」「G線上のアリア」や「川の  
流れのように」など、じっくり聞かせてくれ  
る。昨年は感動して涙ぐむ人も、こちらは感  
激のあまりギヤラをはずさずで赤字になっ  
てしまった。「あいらびいなさ湖の会」は石野省三  
メダカ、牧野久子メダカ、榎原幸雄メダカ、  
賛助渡辺三ツ子メダカらが、いなさ湖を拠点  
に「のんびり、ゆつと環境と文化と人づく  
り」をキーワードに3年前から始めたもの。  
名簿もない、規約もない、会費もない、「よし、

(お礼)  
六月一日に、大須賀町「なんでもあり農園」  
の温室の紐立て作業にボランティアをお願い  
したところ、天候不順にもかかわらず、大勢  
の方に来て頂き誠にありがとうございました。  
お陰をもちまして、約五〇平方メートルの  
温室の骨組みが完成しました。これからシ  
ートなどが掛けられるように仕上げ作業を進め  
ていきます。完成すれば、日よけや雨よけの  
場所としてパーベキューなどのアウトドア活  
動にも活用できます。九月から十月には、サ  
ツマイモがあります。十一月末からは、サト  
ウキビが収穫されます。今年も、日取りは未  
定ですが、収穫祭としてサトウキビ刈り体験を  
行う予定です。是非、当農園に遊びに来て下  
さい。お待ちしております。  
(なんでもあり農園小作人一同)

■レッツ・ダンス  
46年ぶりに静岡県で国体が開かれる。どう  
せ22世紀まで生きられる訳で無し、半世紀に  
一度の国体を何とかが加えていかないだろうか  
そんなことを漠然と考えてきた。国体の事務  
局に問い合わせると、デモンストレーション  
行事には誰でも参加できるという。それでは  
という事で、仲間と共にトライアスロンに  
ようという事になった。トライアスロンは  
物だが、問題は水泳と自転車である。早速、  
泳ぎを習うために、水泳入門書を買ってプ  
ールに通い始めた。同時に中古のロードレ  
サーを手に入れて、ベタルこぎの訓練も始め  
たのである。

それから約2年が経過した。泳ぎも見事？に  
なった。自転車も落車で怪我をしたけれど何  
とかなった。さてという段になって、トライ  
アスロンの募集要項を取り寄せると、何と「応  
募資格は中学生以下。ミニプログラムで開  
催。」と書いてあるではないか。エーッ、開  
いた口がふさがらないとはこのことである。  
そんな折、県民ダンスを募集していると  
いう。「ダンス？」仲間も半信半疑であつた  
が、ともかく19歳から62才までの13人のメ  
ンバーがそろった。

5月のある日、練習会が招集された。そこ  
で私たちがグループが目にしたのは、スラリと  
小股の切れ上がった八頭身の、佐野前校長の  
ような目麗しい女性ばかりであった。それ  
を目の当たりにした私は、さながらアイフル  
のパパ状態になってしまった。追い討ちをか

けるように「お尻を締めて、背筋をピンツと  
伸ばして！。県民の代表として自ら手を上げ  
たのでしょ。盆踊りじやないんですからね。  
遠慮なくピンピンとやりますから。」指導者の  
やさしい声である。  
実は私達のグループは、ダンスどころか、  
ダンスを開けたことも無い。それに胴長短足  
ぞろいである。十二万個の観客の目を誤魔化  
すのはムリだ。かといって、もう引つ込みは  
つかない。練習をするしかない。「下手でも私  
達こそ、県民の代表だ。」と思うことにした。  
(川島 安一メダカ)



